

令和2年度 協働のまちづくり推進計画(実行計画)取組み事業一覧																				議題資料2
No.	事業名 ●＝本計画の期間中に、新たに着手する取組み又は内容を拡充等する取組み)	事業の目的と内容	市担当課等	令和2年度																
				事業計画	実施内容	実施状況	達成目標①					達成目標②					総合評価			
							指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	評価	事業の目的に対する成果等		
1	広報紙・ホームページ等の充実	市からの情報発信をより効果的に行うため、広報紙やホームページ・ソーシャルメディアの更なる充実に向けて、継続的に取組みを実施します。	秘書広報課／各部署	・広報紙の発行 ・ホームページ等による情報発信	・市民の活動する写真や活動する団体のインタビューなどを広報そでがうらに掲載した。 ・ホームページ等（各種SNS）の充実を図るため、市の情報を積極的にツイッター等で発信するとともにYouTubeによる市の魅力（市内事業者など）の紹介を行った。	1.計画どおり	ホームページの閲覧者件数（件）	758,000	1,336,030	1.達成	ホームページについては、トップページを中心としたリニューアルを実施し、市の魅力発信の充実や情報の検索性を向上させた。新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、ホームページの閲覧者数は3月末時点で1,336,030件となり、目標値を大幅に達成している。							A	事業は計画どおり実施されており、目標値も達成している。引き続きわかりやすい情報発信に努められたい。	
2	市長と一緒にティータイム(旧 市民と市長のふれあいトーク)	市政やまちづくりに関して、市民の意見を広く聴き市政に反映させるため、各種団体や市民グループと市長が意見交換を行い、市民参加のまちづくりを推進します。	秘書広報課	・市長と一緒にティータイムの開催 ・広報紙、ツイッターによる周知	令和2年度名称変更 市長と一緒にティータイムとして事業開始 令和2年度については、新型コロナウイルス感染防止対策のため、積極的な周知及び開催を控えたことから、周知回数0回、開催回数は4回に留まった。	3.変更あり	周知回数「広報紙及びツイッター」(回)	9	0	4.その他	新型コロナウイルス感染症拡大のため、周知を控えた。	市長と一緒にティータイムの開催回数(回)	7	4	2.未達成	新型コロナウイルス感染症拡大のため、開催を控えた。	C	新型コロナウイルス感染防止対策の影響により事業計画に変更が生じたが、引き続き開催方法等について検討されたい。		
3	わがまちのようすがわかる予算説明会	市政に関する情報の共有化を進め、市民協働によるまちづくりの推進を図るため、市民を対象に、市長が自ら市政の現状や主要施策、予算等についての説明会を実施します。	秘書広報課	・予算説明会の実施 ・動画の配信	わがまちのようすがわかる予算説明会（わがまちの今・これから）については、開催形態等を改めるため、開催を見送った。	4.中止	参加者数（人）	200	0	4.その他	事業形態を改めることから、開催を見送った。	関心を持てたという人の割合（％）	90	0	4.その他	事業形態を改めることから、開催を見送った。	D	引き続き、新たな事業手法について検討し、早期の事業実施を図られたい。		
4	ガウラフォトクラブ	「市民の目で見て感じた袖ヶ浦の魅力」を写真に収め、市ホームページを活用して、市内外に向けて発信することで、市民参加型の広報活動の活性化を図ります。	秘書広報課	・ガウラフォトクラブ撮影写真のHP掲載によるPR	フガウラフォトクラブ登録者が撮影した写真をHP・Instagramなどで発信し、市の魅力をPRした。	1.計画どおり	ガウラフォトクラブページのページビュー数（件）	9,000	7,484	2.未達成	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、活動の自粛をお願いした期間があったため、未達成となった。						B	事業は計画どおりに実施されている。ページビューの件数は、新型コロナウイルス感染防止対策による自粛により、目標を下回った。今後も会員と協力して、市の魅力の発信に努められたい。		
5	シティプロモーション特設サイト「そでがうらアンバサダー」	市の認知度向上、観光交流・定住人口の増加等を目的として、シティプロモーション特設サイトを運営し、「暮らし」「はたらく」「子育て・教育」の分野において、市内で活躍する「そでがうらアンバサダー」の皆さんが「袖ヶ浦の魅力」を語るインタビュー記事を掲載していきます。	秘書広報課	・シティプロモーション特設サイト「そでがうらアンバサダー」によるPR	「暮らし」「はたらく」「子育て・教育」の分野で、市内で活躍するそでがうらアンバサダー10名の取材を行い、特設サイトを更新し情報発信を行った。 市民参加型の情報発信により、袖ヶ浦市のアクセスの良さ、多様な働き方、充実した子育て・教育環境等の魅力をPRした。	1.計画どおり	シティプロモーション特設サイト「そでがうらアンバサダー」のページビュー数（件）	30,000	47,676	1.達成	シティプロモーション特設サイト「そでがうらアンバサダー」のページビュー数については、9月に実施したWeb・SNS広告の効果もあり、3月末時点で47,676pvとなり、目標値30,000pvを達成した。						A	事業は計画どおり実施されており、目標値も達成している。今後も市の魅力の発信に努められたい。		
6	事業者との協働による市政情報等の提供	市と事業者の協働により、民間資金等を活用して市政情報や地域情報に関するガイドブック・マップ等を発行することで、市民生活に役立つ情報などを提供していきます。	秘書広報課／各部署	・事業者との協働による市政情報等の提供	令和2年度においては、事業者との連携により有料広告を掲載した「市民課窓口封筒」「ごみカレンダー」「おくやみガイドブック」を無償で作成し、市民等に配布した。また、「市民便利帳」の作成準備を行った。	1.計画どおり	※年度により発行数に変動があるため指標は設定しない	-	-	-							A	事業は計画どおり実施されている。今後も市民生活に役立つ情報の提供を図られたい。		

令和2年度 協働のまちづくり推進計画(実行計画)取組み事業一覧

No.	事業名 ●＝本計画の期間中に、新たに着手する取組み又は内容を拡充等する取組み	事業の目的と内容	市担当課等	令和2年度															
				事業計画	実施内容	実施状況	達成目標①					達成目標②					総合評価		
							指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	評価	事業の目的に対する成果等	
7	●協働のまちづくりの事例収集と提供	市民が地域コミュニティに参加するきっかけづくりとするため、市内における地域コミュニティの活動事例を収集し、市ホームページへの掲載や事例発表の機会をつくります。また、地域コミュニティ活動の参考となるように、先進的な事例や工夫している点なども掲載した事例集を作成します。	市民協働推進課	・ＨＰへの事例掲載 ・事例発表会の開催	市内における地域コミュニティの活動事例として、協働事業提案制度による取り組み内容を市広報紙とホームページに掲載し紹介した。また、地域コミュニティ活動の参考となるよう、まちづくり講座での事例発表を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防対策ため、講座が中止となった。	3.変更あり	市ホームページへの事例掲載数（件）	18	18	1.達成	地域コミュニティの活動事例を市広報紙やホームページにて広く紹介することで、市民の地域活動への参加に係る動機付けをすることができた。						B	新型コロナウイルス感染予防対策の影響により事業計画に影響が生じているが、今後の実施方法について検討されたい。	
8	●市民活動情報サイトの活性化	地域コミュニティの活動や募集情報等の発信を支援するため、専用ポータルサイトである市民活動情報サイト（ガウラ・ナビ）を運営します。また、サイトの活性化を図るため、改修等による活性化策を検討します。	市民協働推進課	・市民活動情報サイトの運営 ・活性化策の検討	市広報紙やホームページにて新たな登録団体の募集や市民への利用促進に関する記事を掲載した。	1.計画どおり	市民活動情報サイトへのアクセス数（件）	2,900	3,830	1.達成	市民に対するサイトの利用促進に関する周知やサイト記事の内容の充実化を図った。	市民活動情報サイトへの登録団体数（団体）	67	65	2.未達成	市広報紙やホームページにて新たな登録団体の募集を実施したが、新規団体の登録には至らなかった。	B	事業は計画どおり実施されている。登録団体数の増加へ向け、活性化に向けた検討されたい。	
9	多様な参画機会の提供	市の施策や事業を実施するにあたり、説明会や意見交換会、ワークショップ、アンケート調査などの多様な参画の機会を提供することで、市政への参画と理解の促進を図ります。	市民協働推進課／各部署	・庁内の各課等に周知	庁内の各課等に、市民が市政に参画する機会を更に広げるよう通知するとともに、「協働のまちづくり推進計画」の取組推進に関する通知を適宜行った。	1.計画どおり	各課等への周知回数（回）	2	2	1.達成	市政への更なる市民参画の促進を図ったとともに、今後も様々な機会をとらえ、庁内の各課等に対し市民協働への取組みが発展するよう継続的に啓発を行っていく。						A	事業は計画どおり実施されており、目標値も達成している。今後も継続的な啓発を図られたい。	
10	パブリックコメント手続の活用	市民参画の機会を確保し、公平性の確保と透明性の向上を図り、市民協働による開かれた市政を推進するため、まちづくりに関する基本的な構想や計画等の策定にあたり、パブリックコメント手続を適正に実施します。	企画政策課／各部署	・ＨＰや広報紙での周知 ・意見を募集する事業内容のわかりやすく丁寧な情報提供	広報そでがうら及びホームページに、パブリックコメントの制度や趣旨、手続実施期間、実施予定・実績等を掲載した。 今年度は、9の案件でパブリックコメントを実施し、そのうち、2つの案件で意見の提出があった。 なお、市民会館及び各公民館での閲覧及び配布の実績がほぼなく「市民の市政への参加の推進」に対する効果が少ないことから、市民会館、各公民館及び各図書館での公表の周知に、公表方法を変更した。	1.計画どおり	※年度により対象案件数が増減するため指標は設定しない	-	-	-							A	事業は計画どおり実施されている。引き続き、適正な実施と公表の周知に努められたい。	
11	審議会等への市民公募委員の促進	市の施策等に市民の意見を適切に反映させるため、審議会等への市民公募委員の参加を促進します。	職員課／各部署	・庁内に向けて審議会等の委員の市民公募を推進するよう周知	庁内の各課等に前年度の公募状況の調査を実施した際、委員の市民公募を推進するよう通知した。	1.計画どおり	※各審議会等において状況を踏まえたうえで、市民公募委員を含めた委員の定数、選出区分等を定めており、統一的な対応が困難なことから指標は設定しない。	-	-	-							A	事業は計画どおり実施されている。引き続き、審議会等への市民参加の促進に努められたい。	
12	審議会等への地域コミュニティの参加促進	市の施策等に地域の課題や情報等を適切に反映させるため、自治会など地縁団体の審議会等への参加を促進します。また、市民活動団体や事業者の参加により、その専門的な知識や経験の積極的な活用を図ります。	市民協働推進課／各部署	審議会等の委員選考において、地域人材の活用を図るよう周知する。	各課等が所管する審議会等の委員選考時において、地域コミュニティにおける地縁団体や市民活動団体などといった地域人材の更なる活用を図るよう周知した。	1.計画どおり	各課等への周知回数（回）	1	1	1.達成	各課等が所管する審議会等の委員更新などを検討する年度末のタイミングにおいて、地域人材の活用に関する通知文を発送し、審議会等への地域コミュニティの参加促進を図った。						A	事業は計画どおりに実施されており、目標値も達成している。引き続き、審議会等への地域コミュニティの参加促進に努められたい。	

コロナ影響

令和2年度 協働のまちづくり推進計画(実行計画)取組み事業一覧

No.	事業名 ●＝本計画の期間中に、新たに着手する取組み又は内容を拡充等する取組み	事業の目的と内容	市担当課等	令和2年度															
				事業計画	実施内容	実施状況	達成目標①					達成目標②					総合評価		
							指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	評価	事業の目的に対する成果等	
13	まちづくり講座(ステップアップ講座)	地域の牽引役となる人材を育成するため、会議のファシリテーション、企画・チラシの作り方など実践的なスキルを習得し、チームワークやリーダーシップ等を学ぶステップアップ講座を開催します。また、受講者の増加を図るため各種団体等に働きかけを行うとともに、受講者間の連携を促進します。	市民協働推進課	・まちづくり講座の開催 ・各種団体等へのPR	新型コロナウイルス感染防止対策のため、予定をしていた回数分のまちづくり講座が実施できなかった。(全7回の講座を2回に変更。また、そのうち1回は、緊急事態宣言の発令に伴い中止となった。)講座の運営支援委託業者と連携を図りながら開催した。	3.変更あり	まちづくり講座の参加者数(人)	16	24	1.達成	受講者については、市広報紙やホームページを活用し広く募集を行った他に、地域コミュニティで活動している市民団体等に対して直接呼びかけを行ったことにより、参加者数を増やすことが出来た。	まちづくり講座開催数(回)	7	1	2.未達成	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定をしていた回数分のまちづくり講座が実施できなかった。(全7回の講座を2回に変更。また、そのうち1回は、緊急事態宣言の発令に伴い中止となった。)	B	事業は計画どおりに実施されたが、新型コロナウイルス感染防止対策により、目標値を達成できなかった。 コロナ禍での開催方法について検討されたい。	
14	●人材活用の促進	地域コミュニティの活動や市の事業を実施するにあたり、専門的な知識や先進的取組みの経験などを有する人材を有効活用できるようにするため、人材登録制度をつくります。	市民協働推進課	・人材登録制度の創設	地域人材の活用を図るための仕組みづくりについて、先進事例を参考に運用方法等について検討を行ったが、人材登録制度の創設には至らなかった。	2.遅延あり	人材登録制度の登録者数(延べ人数)	16	0	4.その他	運用方法などについて検討を行ったが、人材活用制度の策定には至らなかった。	人材活用制度(人材登録制度)の登録者の活動回数(延べ回数)	5	0	4.その他	運用方法などについて検討を行ったが、人材活用制度の策定には至らなかった。	C	早期の制度の創設に向け、推進されたい。	
15	災害対策コーディネーター養成講座	自分たちの地域は地域みんなで守る、「共助」の取組み支援の一環として、平時は自主的に地域活動に参加して防災知識の普及や意識の向上に努め、災害時には自主防災組織、ボランティア等と連携・協力して、行政など関係機関との連絡調整等の役割を担う人材を養成します。	防災安全課	・養成講座の開催	災害対策コーディネーター養成講座を12月の5.6.12日に開催し、新たに18名が県の認定を受け、合計141名となった。	1.計画どおり	災害対策コーディネーター養成講座受講者数(人)	30	18	2.未達成	新型コロナウイルス感染症対策として、会場のキャパシティの都合もあり、受講者の募集定員を減らして実施したため、目標値は未達成となった。	災害対策コーディネーター養成講座開催(回)	1	1	1.達成	新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、開催時期や募集定員を変更し、開催することができた。	B	新型コロナウイルス感染防止対策の影響により受講者数は目標には届かなかった。 次年度以降も引き続き講座を開催し、防災知識の普及に努められたい。	
16	普通救命講習会(警防活動運営事業)	市民等に対する正しい応急手当等の知識と技術の普及や啓発活動を効果的に実施することで、一人でも多くの心停止傷病者が社会復帰に至るよう、市民等に対して最新の講習を行います。	中央消防署	・一般市民を対象に年4回募集し実施 ・その他事業所等から要請を受けて実施	新型コロナウイルス感染防止対策のため、一部期間(緊急事態宣言中)に講習会の開催及び受付を中止したが、その他については開催にあたり制限(内容変更、人数制限等)を加え、実施した。	3.変更あり	普通救命講習の受講者数(人)	550	58	2.未達成	新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、講習会の中止や開催にあたり条件等が加えられたため、未達成となった。						C	新型コロナウイルス感染防止対策の影響により数は目標には届かなかった。今後も、応急手当等の知識と技術の普及に努められたい。	
17	はつらつシニアサポーターの養成・活動支援	地域における介護予防の取組みを住民主体で継続する必要性を理解して側方支援を行ってもらうためのサポーター養成講座の開催や自主的活動を促進するためのスキルアップ研修の開催また、養成したサポーターの意向を確認し、新規開設団体の支援を行ってもらうなど活動に向けたマッチングを行います。	高齢者支援課	・養成講座の周知 ・養成講座の開催 ・スキルアップ研修の開催 ・活動の場の提供、活動に向けたマッチング	広報・ホームページへの掲載やチラシの配布、社会教育推進員やファミリーサポートセンターの提供会員への周知や地域に出向いての周知活動に努め、はつらつシニアサポーター養成講座を2回開催した。また、サポーターのうち希望者に、介護予防教室の支援を依頼し参加してもらうことができた。	1.計画どおり	はつらつシニアサポーター数(延べ人数)	136	132	2.未達成	養新型コロナウイルス感染防止の観点から、新規サポーターを養成するための養成講座を、年2回しか開催できなかったため、目標値には届かなかった。						B	事業は計画どおりに実施されたが、目標値は達成できなかった。今後もサポーターの養成に向けた支援を図られたい。	

コロナ影響

●

●

●

●

令和2年度 協働のまちづくり推進計画(実行計画)取組み事業一覧																				議題資料2	
No.	事業名 ●＝本計画の期間中に、新たに着手する取組み又は内容を拡充等する取組み	事業の目的と内容	市担当課等	令和2年度																総合評価	
				事業計画	実施内容	実施状況	達成目標①					達成目標②									
							指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	評価	事業の目的に対する成果等			
18	認知症サポーター養成講座	認知症を理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者を増やし、安心して暮らせる体制をつくることを目的として、認知症サポーター養成講座を開催します。また、講座の講師であるキャラバン・メイトと連携して、市民や市内事業者を対象に認知症サポーターの養成に努めます。	高齢者支援課	・養成講座の周知 ・養成講座の開催 ・キャラバン・メイトの活動支援	市新規採用職員、依頼のあった民間企業、民生委員に対して養成講座をおこない8 6名の養成を行った。キャラバン・メイトに対しては、研修会及び連絡会の開催を検討したが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、開催を見送り、代替として、資料送付を行った。	1.計画どおり	認知症サポーター数 (延べ人数)	9,769	9,365	2.未達成	例年実施している小中学校での講座については、新型コロナウイルス感染症拡大による休校措置、また、感染拡大防止のため、令和2年度中の開催を見送った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため大人数での開催が不可能となり、目標値に届かなかったが、感染防止の対策したうえで講座を実施し8 6名を養成した。	認知症サポーター養成講座開催回数 (回)	26	6	2.未達成	感染予防対策を実施したうえで、民間企業、民生委員等に6回の講座を開催したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、会場の確保が難しかったこと、例年行っている小中学校での開催ができなかったことから、開催数については未達成となった。	B	事業は計画どおりに実施されたが、目標値は新型コロナウイルス感染症防止対策の影響により達成できなかった。今後も様々な分野においてサポーターの養成を図られたい。			
19	認知症サポーターの自主的活動支援(ステップアップ研修)	認知症サポーターが自分のできる範囲で認知症の人や家族の支援ができるように、認知症に関しての更なる知識を習得するためのステップアップ研修を開催します。また、認知症サポーターの新たな活躍の場について検討を行い、サポーターの自主的活動に向けた体制づくりを行います。	高齢者支援課	・認知症サポーターステップアップ研修の開催 ・認知症サポーターの活躍の機会の検討	認知症ステップアップ講座については、当初、対面式およびディスカッション形式での開催を目指したが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑みて、研修資料を市が作成し、対象者に対して送付する書面形式で実施し、意見等徴集を図った。	1.計画どおり	認知症サポーターステップアップ研修開催回数 (回)	1	1	1.達成	認知症ステップアップ講座については書面形式で実施し認知症サポーターの知識の向上が図れた。						A	事業は計画どおり実施されており、目標値も達成している。引き続き認知症サポーターの支援に努められたい。			
20	図書館ボランティアの養成と活動推進	図書館の読書普及事業に市民がボランティアとして積極的に参加できる場を設け、市民との協働による図書館運営を目指し、事業の充実と利用の拡大を図ります。また、人材育成のために、既存ボランティアのスキルアップ講座等を行います。	中央図書館	・おはなし会ボランティアスキルアップ講座の開催 ・ブックスタートボランティア養成講座の開催。	おはなし会ボランティアスキルアップ講座を2回実施し、計3 5名が参加してボランティアとしてのスキルアップを図った。ブックスタートボランティア養成講座全3回開催し、1 4名が受講し、1 1人がブックスタートボランティアとしてR 3年度より活動することになった。	1.計画どおり	ボランティア登録者数 (延べ人数)	70	77	1.達成	おはなし会ボランティアスキルアップ講座を実施し、おはなし会ボランティアを増員することができた。映画・資料展示ボランティアについては適宜募集している。						A	事業は計画どおりに実施されており、目標値も達成している。今後も各種ボランティアとの協働により事業の実施を図られたい。			
21	市民学芸員協働事業	個人がこれまでの人生で培った特技や個性、興味関心を持ち寄り、博物館活動を通して自己実現をしていく中で、更なる人間的成長と社会参加・世代間交流を促進することを目的として、博物館のボランティアである市民学芸員を育成し、各種事業や企画・調査研究等を協働で実施します。	郷土博物館	・養成講座・フォローアップ研修の実施 ・市民学芸員企画事業の実施 ・グループ活動への支援	市民学芸員養成講座を年間を通して10回実施し、4名の新規加入者を得た。グループ活動を支援し、郷土を学ぶ会の調査成果DVD配布に協力した。自主企画事業は写真展「馬に乗った観音様」・植物画作品展「ソデフローラⅧ」・十五夜飾りの3回実施した。フォローアップ研修を実施し、各自の生涯学習促進を支援した。月1回程度の定例会を開催し、市民学芸員同士の交流や情報交換をサポートした。	1.計画どおり	市民学芸員等博物館ボランティア登録者数 (延べ人数)	40	36	2.未達成	市民学芸員養成講座の実施により、4名の新規加入者があったが、転居や高齢・健康等を理由に3名が退会したため、目標を達成できなかった。また、市民学芸員養成講座もコロナ禍の中での募集であり、参加人数に影響があったと考える。						B	事業は計画どおりに実施されている。引き続き、新たな人材の育成に向けた取組を図られたい。			
22	●各種講座等の連携促進	地域活動の担い手等の育成を効率的・効果的に進めるため、各担当部署における講座等の実施計画を取りまとめ共有することで、講座間の連携を図るように努めます。	市民協働推進課／各部署	・講座等実施計画の共有	新型コロナウイルス感染予防対策のため、計画どおり講座等が実施されなかったため、とりまとめができなかった。	3.変更あり	各課等が実施する講座等の調査及びとりまとめ回数 (回)	1	0	4.その他	新型コロナウイルス感染予防対策のため、計画どおり講座等が実施されなかったため、とりまとめができなかった。						C	事業は計画どおり実施されなかった。今後の実施方法について検討されたい。			

コロナ影響

令和2年度 協働のまちづくり推進計画(実行計画)取組み事業一覧

議題資料2

No.	事業名 ●＝本計画の期間中に、新たに着手する取組み又は内容を拡充等する取組み	事業の目的と内容	市担当課等	令和2年度															
				事業計画	実施内容	実施状況	達成目標①					達成目標②					総合評価		
							指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	評価	事業の目的に対する成果等	
23	職員出前講座	市民への学習機会の提供や市政に関する理解を深めるため、市民団体・グループが希望する場所に市職員が出向いて講座を開き、生涯学習のまちづくりを推進します。	生涯学習課／各部署	・出前講座の実施	49の講座メニューを用意し、市内の団体から申込があったものに対して出前講座を実施した。	1.計画どおり	職員出前講座の実施回数（回）	170	40	2.未達成	新型コロナウイルス感染症の影響により、講座の開催ができず、目標値に及ばなかった。						B	事業は計画どおりに実施されている。新型コロナウイルス感染防止対策の影響で、実施回数は目標値に及ばなかった。今後も制度の周知や新たなメニューの追加等を検討されたい。	
24	●まちづくり講座（体験講座）	市民が地域コミュニティ活動に参加するきっかけづくりとするため、地域コミュニティの協力を得ながら実際に地域活動を体験できる講座を実施します。	市民協働推進課	・体験型講座の開催	新型コロナウイルス感染予防対策のため、講座を開催することができなかった。	3.変更あり	体験講座の受講者数（人）	10	0	4.その他	新型コロナウイルス感染予防対策のため、講座を開催することができなかった。						C	新型コロナウイルス感染予防対策の影響により事業計画に影響が生じているが、今後の開催方法について検討されたい。	
25	●協働のまちづくりへの理解促進	市民や地域コミュニティ、市職員の協働のまちづくりに関する理解を促進するため、（仮称）協働のまちづくり読本を作成します。また、まちづくり講演会の開催等により、協働のまちづくりへの理解促進に努めます。	市民協働推進課	・協働のまちづくり読本の作成に係る情報収集 ・まちづくり講演会の開催	新型コロナウイルス感染防止対策のため、まちづくり講演会の開催は見送りとなった。 新型コロナウイルス対策支援を優先することとしたため、協働のまちづくり読本の作成には至らなかった。	3.変更あり	まちづくり講演会の参加者数（人）	50	0	4.その他	新型コロナウイルス感染防止対策のため、まちづくり講演会の開催は見送りとなった。						C	新型コロナウイルス感染予防対策の影響により事業計画に影響が生じているが、今後の講演会の開催方法について検討されたい。	
26	●市民総合賠償補償保険制度	地域活動に安心して参加できるようにするため、社会奉仕活動中の事故により負傷等した場合に、総合災害補償要綱により見舞金を支給します。	総務課／市民活動支援課	・災害補償制度の内容の検討 ・各課保険加入状況調査の実施	市民活動災害補償制度の導入に向け、補償制度の内容等の検討を行った。 各課で加入している市民活動保険について、市民団体の活動内容及び保険料等を調査した。	1.計画どおり	市民総合賠償補償保険制度の周知回数（回）	2	0	4.その他	保険制度の設立を行っていないため。						C	検討の結果、制度の導入は見送りとなった。 今後の状況を見ながら、引き続き検討されたい。	
27	●（仮称）協働のまちづくり表彰制度	地域コミュニティの意欲向上を図り、市民に活動事例を周知して参加のきっかけづくりとするため、地域でまちづくり活動を実践している団体等に対する表彰制度の創設を検討します。	市民協働推進課	・表彰制度のPR ・表彰制度の運用	表彰制度の検討を行ったが、表彰制度の運用には至らなかった。	2.遅延あり	表彰候補団体数（団体）	1	0	4.その他	表彰制度の検討を行ったが、表彰制度の運用には至らなかった。						C	表彰制度の検討を行ったが、制度の設立には至らなかった。 早期の制度の創設に向け、推進されたい。	
28	ファミリーサポートセンター事業	安心してゆとりある子育てができる環境づくりを目指して、「子育ての援助を受けたい方」（利用会員）と「子育ての援助を行いたい方」（提供会員）がファミリーサポートセンターの会員になり、地域で助け合う有償の相互援助活動を行います。	子育て支援課	・入会説明会 ・子育て学習会（年3回） ・主催講座（年3回） ・ファミサポ通信発行（年4回）	ファミリーサポートセンターの安定的な運営を行いつつ、提供会員の増加に向けて定期的に入会説明会を開催した。また提供会員が援助を行うための基礎知識について学ぶ子育て学習会と、会員間や子育てに興味を持つ市民との交流を目的とした主催講座を開催したが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、8月までは実施を自粛しており、主催講座は年2回、子育て学習会は年2回の実施となった。 また、ファミサポの活動報告や今後のイベントの案内等を掲載したファミサポ通信を発行し、会員や市内の公共施設等に配布した。	3.変更あり	利用会員からの依頼に対する子育ての援助件数（件）	510	566	1.達成	利用会員の依頼内容を細かくヒアリングし、会員の属性や依頼内容に合ったマッチングを行った結果、年間の援助件数は目標値である510件を上回る結果となり、前年度の実績値よりも6件増加となった。	提供会員数（延べ人数）	45	43	2.未達成	広報そでがうらや市HP上での周知活動の他に、市政協力員宛て回覧等で提供会員の募集についてポスターやチラシを用いて周知したが、提供会員数は4名減少した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年よりもイベント等での周知活動ができなかったこと、提供会員となるために必要な研修会を実施できなかった時期があったことが重なり、会員数の減少となった。	B	コロナウイルス感染防止対策により、事業は一部変更になり、目標値は、未達成となった。 引き続き、制度の周知に努められたい。	

コロナ影響

※「実施状況」の区分：1.計画どおり、2.遅延あり、3.変更あり、4.中止、5.その他

※「達成状況」の区分：1.達成、2.未達成、3.変更、4.その他

令和2年度 協働のまちづくり推進計画(実行計画)取組み事業一覧

No.	事業名 ●＝本計画の期間中に、新たに着手する取組み又は内容を拡充等する取組み	事業の目的と内容	市担当課等	令和2年度														総合評価	
				事業計画	実施内容	実施状況	達成目標①					達成目標②							
							指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	評価	事業の目的に対する成果等	
29	介護支援ボランティア事業(介護支援しあわせポイント)	高齢者の社会参加を通じた介護予防を推進するため、市内在住の65歳以上の方が介護支援ボランティアとして市に登録し、市の指定を受けた事業所でボランティア活動を行うことで、寄付や商品券への交換ができるポイントを付与します。	高齢者支援課	・事業の実施 ・事業の周知	ボランティアの受け入れを行っている多くの介護施設が、新型コロナウイルス感染防止対策のため、受け入れを行わなかったことから、ポイント付与による寄付や商品券への交換が行える者が例年比で大幅に少なかった。また、コロナ禍により新たに事業登録する方を対象とする介護支援ボランティア講習会の開催ができなかった。	3.変更あり	ボランティア登録人数 (延べ人数)	52	42	2.未達成	新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア活動が思うようにできないことから、ボランティア登録の取り消しを行った者があったため	事業の周知回数 (回)	3	0	4.その他	新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア活動の受け入れを見合わせた事業所が多かったことに加え、新規登録者を対象とした『介護支援ボランティア登録研修会』の開催を見送ったことなど、当初計画していた事業を大きく縮小したことから、広報そでがうらによる周知も見送ることとなった。	C	新型コロナウイルス感染防止対策の影響により、事業は計画どおり実施されなかった。事業再開に向け準備を進められたい。	
30	学校支援ボランティアの活用	子供たちの教育は学校だけではなく、学校・家庭・地域社会が適切に役割を分担して相互に連携して行われることが重要です。実践的教育のため地域に開かれた学校を目指し、地域の人材や民間の力を活用した学校支援ボランティアを充実します。また、地域ぐるみで学校を支援する体制を構築することで、学校の教育力の向上と教育内容の充実を図ります。	学校教育課	・学校支援ボランティアの活用 ・研修会の開催	コロナ禍において、学校の清掃や消毒など、各種ニーズに合わせた新たなボランティアの活用の仕方について検討し、可能な範囲で学校支援ボランティアを活用した。新型コロナウイルス感染防止対策のため、学校支援ボランティア交流集会を中止した。	3.変更あり	市内小中学校の学校支援ボランティア登録者数 (延べ人数)	790	651	2.未達成	新型コロナウイルスの影響により、ボランティア等の外部人材が校内で活動することに制約があった。そのため、学校支援ボランティア登録者数が減少した。						C	新型コロナウイルス感染防止対策の影響により、事業は計画どおり実施されなかった。今後の実施方法について検討されたい。	
31	総合型地域スポーツクラブの活性化	地域スポーツを促進し、市民が参加しやすいスポーツの機会を拡充するため、総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が中心となり各種スポーツ大会等を開催するとともに、市内各総合型地域スポーツクラブがP R活動等を積極的に行うことで、市内5クラブの入会者数の増加を図ります。	スポーツ振興課	・運営委員会の開催 ・交流大会、ウォーキングフェスタ、スポーツ教室の実施 ・無料体験期間(3月)	・運営委員会は、書面通知1回を含め、予定通り4回実施した。 ・連絡協議会主催市内5クラブ交流大会を企画し、子どもから高齢者まで身体を動かす場を提供することにより多様な健康・体力づくりの推進を図る予定だったが、中止となった。 ・新型コロナウイルス感染防止対策のため、ウォーキングフェスタとスポーツ教室(卓球及びボッチャ)、無料体験を中止せざるを得なかった。	3.変更あり	市内総合型地域スポーツクラブ(5クラブ)の総会員数 (延べ人数)	1,370	968	2.未達成	卒業と同時に退会する小学6年生が多く、各クラブで熱心にP R活動を行ったが、多くの新規小学生を入会させることができなかった。また、各クラブで新型コロナウイルス感染症拡大防止等の影響で予定されていたイベントが中止となりP R回数が減ったことも要因の1つである。						B	事業はほぼ計画どおりに実施されたが、新型コロナウイルス感染防止対策により中止となった事業もあり、目標値には届かなかった。引き続き、新規入会者の増加に向けた取組みを図られたい。	
32	消防団協力事業所表示制度	消防団員の就業形態の変化によって被雇用化率が増加し団員確保が年々困難になっています。このため、消防団に積極的に協力している事業所に対して表示証を交付するとともに、地域における社会貢献を評価する消防団協力事業所表示制度の周知を図ります。	消防本部総務課	・袖ヶ浦市消防団協力事業所の認定 ・制度の周知	令和2年度は新規に3つの事業所を認定した。	1.計画どおり	消防団協力事業所認定数 (事業所)	7	8	1.達成	新規に3つの事業所を認定した。						A	事業は計画どおりに実施されており、目標値も達成している。引き続き、制度の周知に努められたい。	
33	●市民協働ゾーンの整備(庁舎整備事業)	市庁舎整備事業の実施にあたり、人々が交流し、誇りと親しみをもてる庁舎を目指して、市民活動の場となる市民協働ゾーンを設け、市民交流スペースやカフェスペース、市民協働会議室を配置します。	資産管理課	・実施設計	基本設計を基に、請負者の技術提案等を反映させた実施設計を進めた。令和3年2月より車庫棟の解体工事を実施し、令和3年5月から1期棟の建設工事に着手する。	1.計画どおり	庁舎整備工事の進捗率 (%)	4.0	4.0	1.達成	工程表に基づき、遅滞なく事業が進捗している。						A	事業は計画どおりに実施されており、目標値も達成している。今後、整備状況等について節目ごとに、市民への周知を図られたい。	

コロナ影響

●

●

●

令和2年度 協働のまちづくり推進計画(実行計画)取組み事業一覧

議題資料2

No.	事業名 ●＝本計画の期間中に、新たに着手する取組み又は内容を拡充等する取組み	事業の目的と内容	市担当課等	令和2年度															
				事業計画	実施内容	実施状況	達成目標①					達成目標②					総合評価		
							指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	評価	事業の目的に対する成果等	
34	子育て交流拠点の提供	「そでがうらこども館」において、子育て中の親子等が気軽に集い、自由に交流できる場所を提供するとともに、子育てについての相談、情報提供、助言等の支援を行う地域子育て支援拠点事業を実施します。また、多目的室等を活用し、子育て関連団体などと連携した講座・イベントを開催します。	保育幼稚園課	・そでがうらこども館の運営 ・講座、イベントの開催	住宅開発等により子育て世帯の転入が進む中、保護者が安心して子育てできるよう保育士や栄養士を配置し、各種相談業務を実施した。 また、親子同士が交流できる場所を提供するとともに、子育て支援団体等によるイベントや講座等を開催し、子育てを支援した。	1.計画どおり	講座、イベントの開催回数（回）	120	107	2.未達成	新型コロナウイルス感染防止対策として、利用者の人数制限やおもちゃ病院等を未開催とするなど、イベントの抑制を行ったため目標達成には至らなかった。						B	事業は計画どおり実施されたが、新型コロナ感染防止対策により、目標値は達成できなかった。 引き続き、開催方法を工夫して進められたい。	
35	袖ヶ浦いきいき百歳体操の取組み拡大	筋力の維持向上といった身体面での効果だけではなく、他者との交流の場の確保による社会性の維持・向上、更には地域づくりにつなげることを目的として、地域において介護予防の取組みを継続して実施できるように支援します。	高齢者支援課	・取組みに向けた周知 ・関心がある団体への説明会実施 ・市内交流大会の開催	袖ヶ浦いきいき百歳体操の自主活動団体の参加者に対して、運動機能面の向上および通いの場の提供の継続を支援した。 市内交流大会については、6月に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、開催を中止した。	3.変更あり	袖ヶ浦いきいき百歳体操の参加者数（延べ人数）	1,381	1,244	2.未達成	新型コロナウイルス感染の懸念から、新規参加を団体等に促しても参加を躊躇される等、新規発足数がほとんどなく参加者数は未達成となった。（新規団体設立は1団体）						B	事業は新型コロナウイルス感染防止対策により、計画を変更して実施された。引き続き、参加者の増加に向け開催場所等について検討されたい。	
36	●区等集会施設の建設等への補助	区等集会施設の計画的な整備や改修、修繕等の実施を支援するため、必要な経費に対して補助金を交付します。また、施設のバリアフリー化や耐震化などの新たな課題に対応できるように補助制度の見直しを検討します。	市民協働推進課	・補助金の交付	・区等自治会が管理する集会施設の修繕等工事19件に対し、補助金を交付した。 ・19件の工事のうち、前年度の要綱見直しにより新たに対象とした耐震改修工事に該当する工事が1件あった。 ・令和元年度の台風15号、19号及び大雨による集会施設への被害に対する補助金として、千葉県が行う「地域コミュニティ施設等再建支援事業補助金」について、36件の補助金交付を行った。	1.計画どおり	集会施設等の建設、修繕に対する補助金の交付件数（件）	10	55	1.達成	令和元年の台風等被害による集会施設の修繕が多くあったため、目標値を大きく上回る結果となった。						A	事業は計画どおり実施されており、目標値も達成している。引き続き、補助制度の周知に努められたい。	
37	地区座談会	地域の様々な団体が連携してまちづくりを進めやすくするため、市内5地区（昭和、長浦、根形、平岡、中川・富岡）において情報交換の場として地区座談会を開催します。なお、地域まちづくり協議会が設立された地区については、本事業を終了します。	市民協働推進課	・地区座談会の開催	昨年度実施した地区座談会での意見を整理した内容をもとに、長浦地区、中川・富岡地区の自治会役員に対し説明会を開催した。	1.計画どおり	地域まちづくり協議会設立組織数（延べ組織数）	1	0	2.未達成	自治会役員に制度の概要について説明したが、地域まちづくり協議会の設立までには至らなかった。						B	事業は計画どおりに実施されたが、目標は達成できなかった。 設立に向け前向きな姿勢を示した地区に対し、積極的な取り組みを図られたい。	
38	●（仮称）市民活動交流会	市民活動団体等が、お互いの活動内容や情報などを交換し、交流する場を設けることで、団体同士がつながり、連携してまちづくりに取り組むきっかけづくりを行います。	市民協働推進課	・市庁舎整備にあたり、交流拠点の整備を要望	資産管理課において市庁舎整備事業の実施にあたり、人々が交流し、誇りと親しみをもてる庁舎を目指して、市民活動の場となる市民協働ゾーンを設け、市民交流スペースやカフェスペース、市民協働会議室を配置する計画で進められている。	1.計画どおり	※市庁舎整備完了予定が2025年のため、指標を設定していない。	-	-	-							A	市民交流スペースの活用方法等について、調査・研究を図られたい。	

コロナ影響

※「実施状況」の区分：1.計画どおり、2.遅延あり、3.変更あり、4.中止、5.その他

※「達成状況」の区分：1.達成、2.未達成、3.変更、4.その他

令和2年度 協働のまちづくり推進計画(実行計画)取組み事業一覧

議題資料2

No.	事業名 ●＝本計画の期間中に、新たに着手する取組み又は内容を拡充等する取組み	事業の目的と内容	市担当課等	令和2年度															
				事業計画	実施内容	実施状況	達成目標①					達成目標②					総合評価		
							指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	評価	事業の目的に対する成果等	
39	地域活性化推進事業への補助	地区自治連絡会を主体として、より広域的に地域課題への取組みや地域住民の交流・地域活性化イベントなどの実施を促進するため、地域活性化推進事業補助金を交付します。なお、地域まちづくり協議会を設立した地区については、本補助金から協議会に対する補助金に移行します。	市民協働推進課	・補助金の交付	昭和地区自治連絡会の事業に対し、地域活性化推進事業補助金を交付した。	1.計画どおり	地域活性化推進事業補助金の活用地区数（地域まちづくり協議会補助金を含む）（地区）	5	1	2.未達成	長浦、根形、中川富岡地区については、補助金を活用する事業を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となった。平岡地区については、地区内の各自治会により夏祭り等のイベントが行われていることから、平岡地区全体による事業実施は計画されなかった。						B	コロナウイルス感染防止対策により地域のイベント等が中止となったため、目標値は達成できなかった。コロナ終息後に向けて、事業の周知を図りたい。	
40	地域支え合い活動支援事業への補助	高齢者をはじめとする交通弱者の移動手段を確保し、社会参加活動の推進を図るため、地域住民が主体となって実施している地域支え合い活動支援事業を支援します。また、外出支援数の増加を図るため、取組みを行っている団体と連携して事業の周知を行います。	企画政策課	・活動の周知 ・活動団体への支援 ・地域支え合い活動の立ち上げ支援	現在活動している1団体に対して、補助金の交付及び車両の貸与を行うとともに、団体の定例会議に出席し、活動の継続を支援した。特に、サービス提供時の新型コロナウイルス感染感染防止対策について、参考となる情報を提供するなどの支援を行った。 また、ホームページ及び平川地区の自治会回覧で、ボランティアや利用者の募集を行った。	1.計画どおり	周知活動回数（回）	2	2	1.達成	平岡地区、中川富岡地区の自治会回覧で周知を行った。 また、市のホームページで活動を周知し、会員の確保に努めた。	活動団体数（団体）	1	1	1.達成	現在活動している1団体に対して、補助金の交付及び車両の貸与を行うとともに、団体の定例会議に出席し、活動の継続を支援した。 新たに活動開始を検討している団体からの相談は無かった。	A	事業は計画どおりに実施されており、目標値も達成されている。今後も新たな団体の事業実施について支援を図られたい。	
41	介護予防活動団体への補助	袖ヶ浦いきいき百歳体操など住民主体の介護予防活動団体に対して、円滑な活動とその継続を支援するため、必要な経費に対して支援を行います。	高齢者支援課	・団体開設時の補助金の周知 ・補助金の交付	補助金について介護予防活動団体へ周知し、交付を行った。	1.計画どおり	袖ヶ浦いきいき百歳体操等介護予防活動団体への補助団体数（団体）	38	29	2.未達成	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、新規立ち上げの団体が1団体（袖ヶ浦いきいき百歳体操）にとどまってしまったことや既存団体の活動についても影響を受けたことにより、補助金の申請が予定より少なかったことから未達成となった。						B	事業は計画どおりに実施されているが、新型コロナウイルス感染防止対策の影響により、目標値を達成できなかった。制度の周知方法等について検討されたい。	
42	ボランティアセンター（社会福祉協議会）への補助	袖ヶ浦市社会福祉協議会にあるボランティアセンターを支援することで、ボランティアセンター機能の充実を図り、ボランティアの育成と支援を通して活動の活性化を図ります。	地域福祉課	・ボランティアセンター運営支援事業補助金を支給	ボランティアセンターの運営や新たに災害ボランティアセンター立上げ訓練に関して、社会福祉協議会に補助金の交付を行った。コロナ禍により例年ボランティアを受け入れてもらっている施設側からの要請がほとんど無く、活動ができない状況となったが、福祉施設のボランティア受入れ状況等の確認を定期的に行い活動機会の確保に努めた。 また、社会福祉センター内で行うボランティア活動に対しては、コロナウイルス感染防止対策を意識し、ボランティアの方が活動しやすい環境を整えて活動支援を行った。広報活動などコロナ禍の影響を受けないことに関しては適切に行った。	1.計画どおり	（社協実施）ボランティア登録数（延べ人数）	1,400	1,396	2.未達成	年齢を理由にボランティア登録をやめる方がいる。この一方で、コロナ禍の影響もあり新規登録が進まなかったことにより未達成となった。						B	事業は計画どおりに実施されているが、新型コロナウイルス感染防止対策の影響で目標値を達成できなかった。新型コロナウイルス感染状況を踏まえながら、今後も登録者の増加に向けた取組を図りたい。	

コロナ影響

※「実施状況」の区分：1.計画どおり、2.遅延あり、3.変更あり、4.中止、5.その他

※「達成状況」の区分：1.達成、2.未達成、3.変更、4.その他

令和2年度 協働のまちづくり推進計画(実行計画)取組み事業一覧

No.	事業名 ●＝本計画の期間中に、新たに着手する取組み又は内容を拡充等する取組み	事業の目的と内容	市担当課等	令和2年度														
				事業計画	実施内容	実施状況	達成目標①					達成目標②					総合評価	
							指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	評価	事業の目的に対する成果等
43	サロン実施(社会福祉協議会)への補助	袖ヶ浦市社会福祉協議会によるサロン実施を支援し、世代間交流・地域内交流の場、高齢者・子育て中の親子等が孤立しないように集える場、また、地域の特徴に応じた交流の場づくりを行うことで、住民・ボランティア等のつながりや地域に合わせた活動の実施を促進します。	地域福祉課	・地区社協サロン開催費補助費の支給	サロンの実施主体である、社会福祉協議会に補助金を交付し、各地域における世代間交流・地域内交流の場としてのサロン実施を推進した。 新型コロナウイルス感染防止対策のため、開催を自粛した地区や会場もあったが、3密を避けることなどを意識し、各地区の状況や開催会場、参加見込人数等を加味し、開催の継続の努力を行った。また広報活動などコロナ禍の影響を受けないことに関しては適切に行った。	1.計画どおり	(社協実施) 子育て・高齢者等のサロンの開設数(延べ件数)	26	11	2.未達成	コロナ禍による影響のため、開催を自粛した地区や会場もあったため未達成となった。	(社協実施) サロン参加者数(人)	5,200	643	2.未達成	コロナ禍による影響のため、開催を自粛した地区や会場もあったため未達成となった。	B	事業は計画どおりに実施されているが、新型コロナウイルス感染防止対策の影響で目標値を達成できなかった。新型コロナウイルス感染状況を踏まえながら、引き続き交流の場の拡大に向けた活動に努められたい。
44	●各種助成制度の情報提供	市が設ける補助金制度のほか、地域コミュニティが民間の助成制度等を有効に活用し、活動資金を確保できるようにするため、各種助成制度等の情報を収集して、市ホームページや窓口などにおいて情報提供を行います。	市民協働推進課	・助成制度等の情報収集 ・HP等による情報提供	国、県、財団法人等が実施している地域コミュニティ活動に対する助成制度について、市ホームページで令和2年度の情報に更新を行った。	1.計画どおり	市ホームページや窓口などでの情報提供数(件)	5	5	1.達成	市及び財団法人等の民間団体による地域コミュニティ向け助成制度の情報を、令和2年度の情報に更新した。						A	事業は計画どおりに実施されており、目標値も達成している。引き続き、情報の周知に努められたい。
45	●自治会運営への支援	地域住民の交流や住みやすい地域づくりを担う自治会の活動を活性化するため、活動事例等を市ホームページや広報紙に掲載するなど、自治会への理解と加入促進を図ります。また、自治会役員等の負担軽減を図るため、自治会運営や加入勧誘にあたり参考となるマニュアル等を作成します。	市民協働推進課	・HP等による活動紹介 ・自治会加入促進チラシの配布 ・自治会設立マニュアルの作成	・広報紙に加入促進の記事を掲載した(年2回)。 ・自治会活動事例として、昭和地区自治連絡会の駅前イルミネーションを市ホームページに掲載した。 ・袖ヶ浦市自治連絡協議会の活動内容を市ホームページに掲載し、活動の周知を図った。 ・自治会加入促進チラシを市民課窓口を設置し、転入者に配布した。また、「自治会への加入促進に関する協定」に基づき、アパート入居者にもチラシを配布し、自治会加入を勧めた。 ・袖ヶ浦市自治連絡協議会と協働で自治会運営マニュアルを作成し、自治会等に配布した。	1.計画どおり	自治会への加入率(%)	63.5	59.6	2.未達成	袖ヶ浦駅海側地区や蔵波地区の新興住宅地など自治会未設立地域の世帯数増加が要因となり、自治会加入率が下落した。						B	事業は計画どおりに実施されているが、目標値は未達成となっている。加入率の増に向け、他市での事例等も参考に様々な取り組みを図られたい。
46	地区住民会議への支援	学校・家庭・地域の連携を深め、未来を担う青少年の健全育成に努める地区住民会議の活動を充実させることで、地域の教育力の向上を図ります。そのため、地域の社会教育機関として構成団体に加わり、ともに活動し支援を行います。また、構成団体との連携・協力を深め人材確保につなげます。	市民会館・公民館	・地区住民会議への参加・支援	各地区住民会議の円滑な運営の為、地域の社会教育機関である各館が事務局となり、総会や行事の開催に向けて構成団体との連絡調整や取り組み等々の支援を行った。	1.計画どおり	地区住民会議の協力者数(延べ人数)	2,400	1,539	2.未達成	各地区で事業を計画したが、新型コロナウイルス感染防止の為、中止となった事業が多く目標は未達成となった。						B	事業は計画どおりに実施されている。新型コロナウイルス感染防止対策の影響により、事業が一部中止となり目標値が未達成となった。事業の円滑な遂行に向け今後も支援を図られたい。

コロナ影響

令和2年度 協働のまちづくり推進計画(実行計画)取組み事業一覧

議題資料2

No.	事業名 ●＝本計画の期間中に、新たに着手する取組み又は内容を拡充等する取組み	事業の目的と内容	市担当課等	令和2年度															
				事業計画	実施内容	実施状況	達成目標①					達成目標②					総合評価		
							指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	評価	事業の目的に対する成果等	
47	●生活支援体制整備事業	住民等の多様な主体が参画し、生活支援に対する多様なサービスを実施することにより、地域における支え合いの体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援を実施します。	高齢者支援課	・第1層及び第2層協議体の継続運営 ・新たな担い手の発掘・育成やサービスの創出、住民主体の支援活動団体間の連携づくり	第1層協議体は7月8日に、第2層協議体の全体会として開催した。 第2層協議体は、3圏域で設置し、年間合計19回開催した（2回の書面開催を含む。）。 担い手育成・サービス創出の啓発は、招集型の講座を開催することは困難なため、地域の要望に応じて少人数に対応するなど工夫した。活動団体交流会も招集型の開催は見送り、書面開催としコロナ禍の活動について情報交換を行った。	1.計画どおり	住民主体の支援活動団体数（延べ団体数）	5	6	1.達成	市内活動団体は、現在6団体となっている。 引き続き住民主体の活動団体の立ち上げを促進し、既存団体の活動継続を支援していく。	担い手養成研修開催回数（回）	9	8	2.未達成	3圏域において年間3回の研修開催を目標としたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定していた開催が急遽中止となるなどにより実績は目標数を下回った。	B	事業は計画どおりに実施されているが、新型コロナウイルス感染防止対策の影響により、目標値に届かなかった。引き続き住民主体団体の設立支援を図られたい。	
48	自主防犯組織の結成と活動支援	「自分たちのまちは自分たちで守る」という自覚と連帯感に基づき、地域の防犯力を向上するため、自主防犯組織の結成を促進するとともに、防犯装備品の貸与を行うなどの支援を行います。	防災安全課	・組織設立の支援 ・防犯装備品の貸与	自主防犯組織に対し防犯装備品の貸与希望を文書により照会し、これまでの貸与実績等を踏まえて貸与数を決定し、各自主防犯組織に防犯装備品を貸与した。	1.計画どおり	自主防犯組織の設立数（延べ団体数）	41	44	1.達成	令和2年12月に1団体新規設立があり、令和2年度末時点の自主防犯組織の設立数は44団体となったため、目標値を上回ることができた。						A	事業は計画どおりに実施されており、目標値も達成している。引き続き活動の支援を図られたい。	
49	自主防災組織の結成と活動支援	「自分たちのまちは自分たちで守る」という自覚と連帯感に基づき、地域の防災力を向上するため、自主防災組織の結成を促進するとともに、防災資機材の貸与や防災訓練の指導などにより充実拡充を図ります。	防災安全課	・組織結成の促進 ・防災資機材の貸与、更新 ・防災訓練の指導 ・リーダー研修会の開催	リーダー研修会については、自主防災組織のリーダー（自治会長）が年度始めに交代となるケースが多いことから、例年5月に開催をしているが、今年度については、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、緊急事態宣言が発出されていたため、中止とした。	3.変更あり	自主防災組織数（延べ団体数）	76	76	1.達成	自主防災組織の結成数は、本年度新たに1組織が結成され、計76組織となった。						B	事業は新型コロナウイルス感染症感染予防対策のため、計画は一部中止となったが、目標値は達成している。引き続き活動の支援を図られたい。	
50	●（仮称）市民活動サポートセンターの設置	地域コミュニティ活動に関する情報提供や相談窓口となる市民活動サポートセンターの設置と専任コーディネーター・アドバイザーの配置について検討します。また、市庁舎整備に伴い市民交流・協働スペースを設置する計画であるため、これに時期を合わせて設置することで相乗効果を図ります。	市民協働推進課	・先進事例の研究 ・サポートセンター設置基本方針の作成	2025年の市庁舎整備完了予定時に合わせ、市民活動スペースにサポートセンターを設置することを目指し、先進自治体の取組などの情報収集を行った。	1.計画どおり	※市庁舎整備完了予定が2025年のため、指標は設定しない	-	-	-							A	引き続き、計画どおりの取組みを進められたい。	
51	●地域まちづくり協議会の設立支援	地域まちづくり協議会の設立を支援するため、未組織の地区において地区座談会を開催するなどきっかけづくりをするとともに、活動事例を紹介するなど協議会への理解を促進します。また、協議会が設立されるまでに必要な事務手続等に対する支援を行います。	市民協働推進課	・協議会の設立支援	長浦地区および中富地区において、説明会を実施した。	1.計画どおり	地域まちづくり協議会設置組織数（延べ組織数）	2	0	2.未達成	協議会の設立には至らなかった。						B	新型コロナウイルス感染症感染予防対策のため、目標は達成できなかった。設立に向け、積極的な取り組みを図られたい。	

コロナ影響

※「実施状況」の区分：1.計画どおり、2.遅延あり、3.変更あり、4.中止、5.その他

※「達成状況」の区分：1.達成、2.未達成、3.変更、4.その他

令和2年度 協働のまちづくり推進計画(実行計画)取組み事業一覧

議題資料2

No.	事業名 ●＝本計画の期間中に、新たに着手する取組み又は内容を拡充等する取組み	事業の目的と内容	市担当課等	令和2年度														
				事業計画	実施内容	実施状況	達成目標①					達成目標②					総合評価	
							指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	評価	事業の目的に対する成果等
52	●地域まちづくり協議会の運営支援	地域まちづくり協議会の円滑な運営と市との連携体制を確保するため、各協議会との連絡調整や運営補助などを担当する市職員等を配置します。また、協議会の運営や事業の実施に対して、地域まちづくり協議会補助金交付要綱に基づき補助金を交付します。	市民協働推進課	・職員配置方法の検討 ・補助金の交付	コーディネーターの設置について、検討を行った。	2.遅延あり	地域まちづくり協議会の運営支援組織数 (延べ組織数)	2	0	2.未達成	協議会の設立には至らなかった。						C	現在、まちづくり協議会の設立には至っていない。設立後の支援に向けて引き続き支援体制の検討されたい。
53	協働事業提案制度の活用	少子高齢化の進行やライフスタイルの多様化などにより、複雑化・多様化している地域課題や市民ニーズに対応するため、市民活動団体等から事業を募る協働事業提案制度を運用します。また、市ホームページ等で協働事業の実施事例を紹介するなど、制度の周知と活性化を図ります。	市民協働推進課／各部署	・提案制度の運用 ・ＨＰ等による事例紹介	市広報紙やホームページにて、協働事業提案制度に係る取組み事例の紹介や、令和３年度に実施する事業を募集したところ、新規事業３件の応募があり、内容を審査した結果、全ての提案事業を採択した。	1.計画どおり	協働事業提案制度の実施件数 (延べ件数)	18	18	1.達成	令和２年度に実施された提案事業は、継続事業の３件で新規事業１件であった。引き続き、市広報紙やホームページにて協働事業提案制度に関する周知を図るとともに、市民活動団体等に対して本制度の活用について個別に周知活動を行っていく。						A	事業は計画どおりに実施されており、目標値も達成している。引き続き制度の周知に努められたい。
54	高齢者見守りネットワーク事業	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、協定等を締結した協力事業者、関係機関・団体等が日常生活や業務などにおいて、地域の高齢者に対する「さりげない見守り」を実施します。	高齢者支援課	・事業者の普及啓発 ・協力事業者・関係団体等拡大	市及び見守り協力者が相互に連携し、異変のある高齢者を早期に発見し、必要な支援を行った。また、市政協力員会議により事業の周知を行い協力事業者の拡大に努めた。	1.計画どおり	協定等を締結した協力事業者・関係団体数 (延べ団体数)	61	69	1.達成	実績値は、令和元年度時点で令和２年度の目標値を上回っていたが、年間の増件数においても目標を上回る年間４団体の登録があった。	事業の周知回数 (回)	3	3	1.達成	市の広報紙やホームページ等により、新規登録事業所の獲得に努めた。	A	事業は計画どおりに実施されており、目標値も達成している。引き続き協力事業者の拡大に努められたい。
55	一人暮らし高齢者宅防火診断	防火思想の普及と被害の軽減を図るため、関係機関と協力し、一人暮らしの高齢者に通知をして防火診断を実施します。	消防本部予防課	・一人暮らし高齢者宅防火診断	新型コロナウイルス感染防止対策のため、関係事業者へ事業の参加依頼を見合わせ、消防職員のみで事業を実施したため、防火診断方法を変更した。（玄関先で聞き取り形式の防火診断を実施した。）	3.変更あり	火災予防運動期間中の一人暮らしの高齢者宅訪問回数 (回)	2	2	1.達成	防火診断方法を変更したものの、高齢者宅を訪問でき、火災予防啓発活動が実施できたのはよかった。						B	事業は、コロナ感染防止対策により実施方法に変更はあったが、目標値を達成した。今後も関係機関と協力し、啓発に努められたい。
56	在宅医療・介護連携推進事業	医療と介護の両方が必要な高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、顔の見える関係の構築等、関係者間の連携の推進に向けた土台づくりや、在宅医療と介護の一体的な提供体制の整備を進めます。	高齢者支援課	・在宅医療・介護連携推進協議会、多職種協働研修の開催 ・市民への普及啓発 ・医療・介護連携支援相談窓口の運営	新型コロナウイルス感染防止対策のため、事業の実施に当たり下記の変更を行った 推進協議会は、年間3回予定が、2回開催となった。（1回は招集開催、2回目はリモート開催。） 多職種協働研修は、医療・介護の関係者づくりを目的としており、招集型の研修開催はすべて中止した。 市民への啓発は、市民向け講演会2回予定が、動画公開による1回開催となった。	3.変更あり	多職種協働研修会の開催数 (回)	4	0	4.その他	関係者の顔の見える関係づくりを目的とした研修は、招集開催でなければ目的が果たされないことから、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。						C	事業は、コロナ感染防止対策により実施方法に変更があった。引き続き、今後の実施方法について検討されたい。

コロナ影響

※「実施状況」の区分：1.計画どおり、2.遅延あり、3.変更あり、4.中止、5.その他

※「達成状況」の区分：1.達成、2.未達成、3.変更、4.その他

令和2年度 協働のまちづくり推進計画(実行計画)取組み事業一覧

議題資料2

No.	事業名 ●＝本計画の期間中に、新たに着手する取組み又は内容を拡充等する取組み	事業の目的と内容	市担当課等	令和2年度															
				事業計画	実施内容	実施状況	達成目標①					達成目標②					総合評価		
							指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	評価	事業の目的に対する成果等	
57	●在住外国人の生活支援等の推進	市内在住の外国人は年々増加しており、今後も外国人労働者や永住者の増加が見込まれるため、外国人が安心して暮らせるよう関係団体等と連携を図りながら、コミュニティ支援（学校・地域コミュニティ等）や生活支援（言語・相談・医療・防災等）に取り組むとともに、多文化共生に対する理解の促進と参加の仕組みづくりを進めます。	市民協働推進課	実施方法の検討	国際交流協会との連携を図りながら実施方法の検討を進めた。また、市内へ転入する外国人へのチラシ等の配布、市ホームページにおける多言語での情報発信などにより生活支援を図った。新型コロナウイルス感染症の影響により、日本語教室の開催が一部中止となった。	1.計画どおり	日本語教室の開催支援回数（回）	44	24	2.未達成	新型コロナウイルス感染症の影響により公民館施設の利用が制限され、4月、5月、2月及び3月は日本語教室の開催を中止した						B	事業計画どおり実施されているが、コロナ感染防止対策により、目標値を達成できなかった。引き続き、多文化共生の推進に努められたい。	
58	市内一斉清掃事業	市内一斉清掃と臨海地区清掃を実施することにより、ふれあいのあるごみのない住環境の整備と住民の美化意識の高揚を図ります。	環境管理課	・市内一斉清掃（2回/年）の実施 ・臨海地区清掃（4回/年）の実施	新型コロナウイルス感染防止対策のため、第1回一斉清掃（令和2年5月31日）は中止となったが、市民との協働により、第2回一斉清掃（令和2年11月15日）は実施し、散乱ごみ等の収集と側溝等の清掃を行った。 また、企業との協働により、年4回（6月17日、9月16日、11月11日、2月17日）の臨海地区清掃を実施し、散乱ごみ等の収集を行った。	3.変更あり	市内一斉清掃実施回数（回）	2	1	2.未達成	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、第1回一斉清掃（令和2年5月31日）は中止となったが、第2回一斉清掃（令和2年11月15日）は行うことができた。 市民との協働により、年1回市内一斉清掃を実施した。	臨海地区清掃実施回数（回）	4	4	1.達成	企業との協働により、年4回の臨海地区清掃を実施した。	B	新型コロナウイルス感染防止対策により、事業の計画に一部変更があった。今後も市民や企業との協働により、市内の環境美化に努められたい。	
59	●まちの美化推進事業	空き缶等のポイ捨て防止等について、市民参加による地域の環境美化の促進と美化意識の向上を図ることで、美しい街づくりを目指します。また、市民や来訪者に愛される街並みを確保するため、各種イベントを活用した啓発活動の実施や、ポイ捨てごみの多い箇所を対象に大型啓発看板を設置し、その効果を環境美化推進員と連携して検証するなど事業の充実を図ります。	環境管理課	・環境美化推進員による巡回報告及び散乱ごみの収集 ・市民による駅前ポイ捨て防止啓発活動 ・清掃ボランティアへの支援	・毎月提出される環境美化推進員からの巡回報告をもとに、委託による散乱ごみの収集を行った。 ・市民と協力して、駅周辺の散乱ごみを収集しながら、ポイ捨て防止を呼び掛ける啓発活動を行った。 （袖ヶ浦駅周辺 7月10日実施、長浦駅周辺 10月12日実施） ・清掃ボランティアへのごみ袋の配布や収集したごみの受け入れを行った。	1.計画どおり	巡回・収集回数（回）	12	12	1.達成	環境美化推進員から提出される毎月の巡回報告をもとに、散乱ごみの収集を行った。	駅前啓発活動回数（回）	2	2	1.達成	市民による駅前ポイ捨て防止啓発活動を行った。 （袖ヶ浦駅周辺 7月10日実施、長浦駅周辺 10月12日実施）	A	事業は計画どおり実施され、目標値も達成している。今後も市民や企業との協働により、市内の環境美化に努められたい。	
60	資源回収活動	市民のごみ処理に対する認識を高めるとともに、ごみの減量化と資源化を促進し、循環型社会を構築するため、資源の回収活動を実施した自治会や団体等に対して助成金を交付します。また、活動団体を増やすために広報等でPRを実施します。	廃棄物対策課	・資源回収活動団体（自治会・団体）への助成 ・新規の自治会や団体を増やすためのPRを実施	・資源回収活動に参加した113自治会、10団体（見込値）に対し、資源回収量に応じて助成金を交付した。 ・ホームページにて資源回収活動に関する事業概要や募集を図った。	1.計画どおり	自治会回収数（地区）	115	113	2.未達成	ホームページにて資源回収活動（自治会）に関する事業概要や募集を図ったが、新たな参加自治会の登録はなく、今年度の実績値は113自治会となり、目標値の115自治会とならなかったため未達成となった。	団体回収数（団体）	18	10	2.未達成	ホームページにて資源回収活動（団体）に関する事業概要や申請手続きについて掲載したが、コロナ禍の影響のため今年度の実績値は10団体であり、目標の18団体に達せず未達成となった。	B	事業は計画どおりに実施されたが、新型コロナウイルス感染防止対策の影響により、目標値は達成できなかった。引き続き事業の周知に努められたい。。	
61	景観まちづくり推進団体の認定	多面的な景観まちづくりを推進するため、一定の要件を満たす市民団体を景観まちづくり推進団体として認定し、情報の提供、技術的な支援や助言などを行うとともに、活動内容を広く周知することで、団体同士の交流や連携を促進します。	都市整備課	・年2回広報にて団体募集 ・HPにて認定された団体のPR	・広報令和2年6月1日号、令和3年2月1日号にて、景観まちづくり推進団体の募集を行った。 ・HPにて、景観まちづくり推進団体のPRを行った。	1.計画どおり	景観まちづくり推進団体に認定されている団体数（延べ団体数）	8	7	2.未達成	広報誌、HPにて景観まちづくり推進団体の募集、PRを行うなど、新規団体の募集、認定団体数の維持に努めたが、目標値を達成することができなかった。						B	事業は計画どおりに実施されたが、目標値は達成できなかった。引き続き制度の周知に努められたい。	

コロナ影響

※「実施状況」の区分：1.計画どおり、2.遅延あり、3.変更あり、4.中止、5.その他

※「達成状況」の区分：1.達成、2.未達成、3.変更、4.その他

令和2年度 協働のまちづくり推進計画(実行計画)取組み事業一覧

No.	事業名 ●＝本計画の期間中に、新たに着手する取組み又は内容を拡充等する取組み	事業の目的と内容	市担当課等	令和2年度															
				事業計画	実施内容	実施状況	達成目標①					達成目標②					総合評価		
							指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	評価	事業の目的に対する成果等	
62	違反広告物除却活動の推進団体制度	まちの良好な景観の形成と風致の維持を図るため、美観や通行の安全を阻害している道路上のはり紙、はり札、立看板等の違反広告物について、自発的に除却活動を行う団体を市が認定し、用具の貸与等の支援を行います。	都市整備課	・除却活動の講習会実施 ・年1回、広報にて除却活動推進団体の募集 ・各団体の継続認定事務	・広報令和2年7月15日号にて、除却活動推進団体を募集を行った。 ・既存団体の継続認定事務を実施した。 新型コロナウイルス感染防止対策のため、一部事業を中止した。	3.変更あり	違反広告物除却活動推進団体に認定されている団体数 (延べ団体数)	8	6	2.未達成	市広報紙やホームページにて新たな登録団体の募集を実施し、新規団体の募集に努めたが、令和3年3月31日付で1団体の退任があり、目標値を達成することができなかった。						C	新型コロナウイルス感染防止対策の影響により、一部事業計画に変更が生じた。引き続き制度の周知に努められたい。	
63	道路アダプトプログラム	道路の清掃や除草などを行う市民団体等に対し、草刈り機の燃料等を支給し活動を支援することで、市民参加による道路の美化活動を行い、道路愛護と協働のまちづくりを推進する。	土木管理課	・参加団体への支援 ・道路アダプトプログラム制度の周知・PR	1. 参加団体への活動支援：13団体 ・草刈り機の燃料、替刃等の支給 ・ボランティア活動に係る保険への加入 2. 道路アダプトプログラム制度の周知、PR：4回	1.計画どおり	参加団体数 (延べ団体数)	8	13	1.達成	道路アダプトプログラム制度の周知やPRを行い、令和2年度の参加団体の目標値である8団体を上回る13団体の参加があり、目標を達成することができた。						A	事業は計画どおり実施されており、目標値も達成している。引き続き制度の周知と団体への支援に努められたい。	
64	公園の美化活動	身近な公共空間である公園と緑地の美化を推進し、市民意識の向上を図るとともに清潔で安全な公共空間を創出するため、市民と市、指定管理者が一体となって、公園の美化活動や緑化活動を推進します。	都市整備課	・協力団体への支援及び新規協力団体募集活動	既存団体への支援に関しては、計画通り実施できた。 新規団体の募集活動については、市政協力員会議及びホームページでの募集活動に加えて計画していた個別募集活動が、新型コロナウイルス感染防止対策のため、実施できなかった。	3.変更あり	公園等の美化活動参加団体数 (延べ団体数)	36	37	1.達成	令和2年度については、既存団体への支援を継続的に行うことにより目標を達成することができた。 今後は、益々高齢化が進むことから協力団体を増やすことが困難になると想定されるが、自治会等への働きかけを継続的に行うことにより、増加を目指していきたい。						B	新型コロナウイルス感染防止対策により一部事業計画に変更が生じたが、目標値は達成している。引き続き、協働による公園の美化活動や緑化活動の推進に努められたい。	
65	多面的機能支払交付金事業	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域で行う水路の草刈りや泥上げ、農道の維持補修、花の植栽による景観形成等に支援を行い、自然環境の保全及び良好な景観の形成等の地域資源の適切な保全管理を推進します。	農林振興課	・農用地、水路、農道等の保全活動	農道の草刈りや、水路の泥上げ等を実施し、農道・水路の維持に努めた。 また、農道や水路脇に花の植栽を農業者・非農業者とともに実施し、景観形成に努めた。	1.計画どおり	活動面積 (ヘクタール)	1,000	1,000	1.達成	活動面積について、計画どおり達成できた。						A	事業は計画どおりに実施されており、目標値も達成している。引き続き、景観形成等への支援に努められたい。	
66	田園空間施設維持管理事業への補助	市民に親しまれる景観の優れた道路となるように、広域農道（フラワーライン）において地元区等が歩道路肩部への草花の植栽を行うなど、田園空間施設の維持管理活動を支援します。また、広域農道沿いの二級河川浮戸川（県管理）堤防の除草についても、地元区により実施します。	農林振興課	・植栽7地区（5,100m） ・草刈6地区（4,330m）	・広域農道（フラワーライン）の袖ヶ浦高校から岩井地先（約5.1km）の植栽を7区（神納東区、飯富区、下新田区、三ツ作区、大曽根区、勝区、岩井区）に依頼し、ポピー、ひまわり、コスモス等を植栽して沿道の環境美化に努めた。 ・浮戸川沿い飯富地先から岩井地先（約4.3km）の草刈りを6区（飯富区、下新田区、三ツ作区、大曽根区、勝区、岩井区）に委託し、年間2回以上行い河川用地の適正な維持管理に努めた。	1.計画どおり	植栽を行う地区の数 (延べ地区数)	7	7	1.達成	植栽作業は計画通り実施できた。	草刈を行う地区の数 (地区)	6	6	1.達成	6地区の草刈りが計画通り春と秋に実施できたため、一年を通じて河川用地の適正な維持管理ができた。	A	事業は計画どおりに実施されており、目標値も達成している。引き続き、田園空間施設の維持活動の支援に努められたい。	

コロナ影響

令和2年度 協働のまちづくり推進計画(実行計画)取組み事業一覧

No.	事業名 ●＝本計画の期間中に、新たに着手する取組み又は内容を拡充等する取組み	事業の目的と内容	市担当課等	令和2年度														
				事業計画	実施内容	実施状況	達成目標①					達成目標②					総合評価	
							指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	指標の内容	目標値	実績値	達成状況	実績値に対する評価等	評価	事業の目的に対する成果等
67	水と緑の里整備事業	椎の森自然環境保全緑地の荒廃を防ぎ、生物の多様性の確保など環境を保全するとともに、市民が身近な自然と触れ合える場をつくるため、「水と緑の里」として協働により整備することで、市民等のボランティアが参加し、活動する場とします。	環境管理課	・下草刈り・散策道整備等の実施	椎の森自然環境保全緑地において、ボランティアにより月２回の整備作業を実施した。（新型コロナウイルス感染防止対策及び雨天による中止７回）	1.計画どおり	しいのもりボランティアによる、年間の草刈り等の維持管理の回数（回）	18	16	2.未達成	新型コロナウイルス感染防止対策及び雨天の影響により、目標値には届かなかったが、整備作業を実施したことにより散策路が整備され、緑地の保全が図られた。						B	事業は計画どおりに実施されたが、新型コロナウイルス感染防止対策により目標値を達成できなかった。事業の継続に向け人材の確保に努められたい。
68	協働のまちづくり推進委員会	本計画の策定や見直し、運用等を市民参画の下で行っていくため、協働のまちづくり推進委員会を運営し、その意見等の反映に努めるものとします。	市民協働推進課	・推進委員会の運営	新型コロナウイルス感染予防対策により、書面にて推進委員会を開催し、袖ヶ浦市協働のまちづくり推進計画（実行計画）における令和元年度の総合評価に対し意見をいただいた。	1.計画どおり	協働のまちづくり推進委員会の開催回数（回）※計画期間：2019～2023年度	2	1	2.未達成	委員会の開催については、内容を精査し１回の開催とした。						B	事業は計画どおりに実施されている。今後も、新型コロナウイルスの感染状況や会議内容を見極めながら、委員会を開催されたい。
69	●地域コミュニティに関する市民意識調査	地域コミュニティの現状と課題を整理し、市民の意見等を適切に次期計画に反映させるため、自治会や市民活動等に関する意識調査を実施します。	市民協働推進課	-	まちづくり推進計画の改定時期に合わせ、５年毎に市民意識調査を実施するため、今年度の取組は無かったものである。	5.その他	市民意識調査の実施回数（回）	-	-	4.その他	まちづくり推進計画の改定時期に合わせ、５年毎に市民意識調査を実施するため、今年度の取組は無かったものである。						-	令和２年度は事業の予定がなかった。
70	協働のまちづくり推進本部	市の施策分野を横断して協働のまちづくりに取り組むため、協働のまちづくり推進本部と推進部会を運営し、計画の進捗管理や各部局における取組み状況の検証、必要となる施策の検討、総合調整等を行うとともに、庁内における共通認識を図ります。	市民協働推進課／各部署	・推進本部の運営	協働のまちづくり推進計画の取組事業における令和元年度の総合評価について、推進本部を開催し、取組状況の検証を行った。	1.計画どおり	協働のまちづくり推進本部の開催回数（回）※計画期間：2019～2023年度	1	1	1.達成	計画どおり開催ができた。						A	事業は計画どおりに実施されており、目標値も達成している。引き続き、取組状況の検証に努められたい。
71	市職員の協働研修	研修を通じて協働に関する理解を深め、必要な知識や技能を習得させることで、地域コミュニティとの協働による事業に積極的に取り組むことができる市職員の育成を図ります。	職員課／各部署	・職員研修の実施	新規採用職員を対象とした研修内容のひとつとして、市民協働推進課職員により実施した。	1.計画どおり	研修受講者数（人）	80	20	2.未達成	新型コロナウイルス感染症のため、職場内における集合研修を見送ったため。						B	新型コロナウイルス感染防止対策により目標値は達成できなかった。今後の開催方法について、検討されたい。

コロナ影響